

令和6年度

第2回 進路説明会



印西市立西の原中学校

令和6年10月10日(木)

氏名 _____

目次

1. 進路決定に向けて	1
2. 志望校の決定について	2
3. 公立高校受検について	3
4. 私立高校の受験について	10
5. その他の学校(進路)について	12
6. 具体的な今後の諸手続	12
7. 進路関係Q&A	15
8. 生徒・保護者の皆さんへ	16

資料編 (別冊)

○令和6年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法(千葉県立印旛明誠高等学校)	資料 1
○志願理由書	資料 2
○自己申告書	資料 3
○志願変更願	資料 4
○希望変更願	資料 5
○令和7年度 千葉県立高等学校入学者選抜関係日程	資料 6
○令和7年度 千葉県公立高等学校インターネット出願の流れ	資料 7
○県立高等学校全日制の課程普通科通学区域図	資料 8

1. 進路決定に向けて

いよいよ中学校卒業後の進路を選択し、決定していく大事な時期を迎えました。これまで一生懸命学習してきたことや、学校生活で努力してきたことの成果が出てくる時期でもあります。学習面では、テストなどの結果をもとに、自分の苦手な教科や弱点を把握し、その克服に力を注いだり、過去の問題を解いて実践力を培ったりするのもよいと思います。いずれにしても、地道な努力を続けることが実力の向上につながります。『なかなか成果が表れない』とか『いまからではもう遅い』など不安な気持ちが出る時期でもありますが、自分のことを自分で決めるというとても大切な経験をするのですから、自分の可能性を信じて進路について真剣に考えていきましょう。

(1) 将来どんな人生を送るか、そのためにどのような進路を選択していくか考える。

- ・将来の夢や目標は？
- ・高校卒業後は大学や短大、専門学校へ進学したいのか？
- ・それとも、高校卒業後は就職したいのか？

(2) 自分の個性や適性を考える。

- ・能力、適性は？
- ・興味、関心は？
- ・現在の学力は？
- ・志望する学校では、どんな力を伸ばしたいか？

(3) 学校の種別を考え選択する。

- ・第一希望は公立か私立か？
- ・普通科か専門学科か？
- ・全日制課程か、定時制、通信制か？
- ・共学か、男子校または女子校か？
- ・サポート校、専修学校、各種学校等か？
- ・受験する学校の希望順位は？
- ・何校受験するか？

(4) 学校の内容を調べ検討する。

- ・校風、教育目標、教育方針(宗教教育を含む)は？
- ・教育内容(カリキュラム等)の特色は？
- ・卒業後の進路状況は？
- ・学費や、入学金は？
- ・環境や施設設備は？
- ・通学の距離や時間は？
- ・運動系、文化系部活動の活動状況は？
- ・入学試験の難易度は？
- ・推薦などの制度は？
- ・出願に必要な書類や延納手続きは？

2. 志望校の決定について

よく考え、最終決断は自分自身の意志と責任で！他人任せにしない！

ポイント① 3年間通いきれるか？

入学後、3年間通い続けられるかを確認する必要があります。自宅から学校までの距離や所要時間、部活動や習い事などを始めた場合、時間的に学業と両立できるのかなども考えておきましょう。

ポイント② そこでなにをやるか？(目標)

進学先に入学することが目的ではありません。あくまでも自分の夢を叶えるための通過点に過ぎません。数多くある学校の中から、なぜその学校を選択したのか。その学校の特色をよく調べて、明確な目標を決めることが大切です。

ポイント③ 自分の力とあっているか？(成績)

中学校では成績が上位に入れなかった人が、高校で10番以内になったことをきっかけに、自信を持ってその後の進路を決められたり、中学校時代は成績が良かったが、高校に入ったら良い成績が取れず、自信をなくしてしまったりという話はたくさんあります。

進学先を決定する際、学校の名前が有名かどうかだけで決めることのないようにしましょう。高校卒業という資格は、どの高校、学科でも同じです。将来的に考えれば、高校名より自分自身のやる気や意欲の方が大切です。考え方はさまざまですが、高校の学力レベルと自分の特性についても良く考えて、自分にとってよりよい選択ができるようしっかりと考えましょう。

ポイント④ 高校卒業後どうするのか？(高校後の進路)

高校の資料には、卒業生の進路が載っています。説明会では、より詳しく話してくれるでしょう。大まかな高校卒業後の進路についても考えておきましょう。例えば、大学受験で筆記試験の受験をしていくのか、高校で努力して指定校推薦をもらうのか等、方法もさまざまです。

ポイント⑤ 経済的な面も考えよう！(学費)

私立高校は、公立高校に比べて多くの出費を考えておく必要があります。各高校のパンフレット等にも記載されているので、参考にしてください。制服や指定のかばん、教科書、修学旅行積立など授業料の他ににかかる費用についても確認しておきましょう。

ポイント⑥ 第二希望も良く調べる！(通うことになったときどうか？)

第一希望の高校について良く調べるのは当たり前です。しかし、第二希望以下の学校について、ろくに調べもせず、成績だけで入れる高校を選ぶケースがあります。結果、通うことになってから、遠くて通いきれない、学費が高すぎた、目標が持てないなど…。自分はこの高校に入るつもりはなかったと思いながら三年間通うのはつらいものです。最悪の場合、退学ということも考えられます。ですから、第二希望についても、通うことを考え、自分が納得できる学校を選ぶことが大切です。第一希望だけでなく、第二、第三希望の高校も、受験するということは、**進学する可能性のある高校**と考えて調べておきましょう。

ポイント⑦ 入試日程・内容を調べる！(スケジュールの把握をしっかりと行う)

試験日が重なる場合(私立)や、試験日が2日間にわたる場合、学科や志望順位によって試験日が異なる場合がありますので、**各自で必ず確認をしましょう**。また、**日程的に無理な入試スケジュールを組まないこと**。受験は可能であっても、心身の疲れも考えましょう。

そして、試験科目、内容を確認すること。面接(グループ・個人)、作文の有無。筆記試験は3教科か、5教科か。またリスニングはあるか、記述式か、マークシート方式かなど確認しておきましょう。

3. 公立高校受験について

令和7年度千葉県公立高等学校入学選抜要項より

1 一般入学者選抜

1 本検査

(1) 願書提出期間・受付時間

志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間 1月14日～2月3日
出願書類等受付 2月4日～2月6日(正午まで)

(2) 出願書類

入学願書	出願登録サイトにて、所要事項を入力する。詳細は「インターネット出願志願者マニュアル」(各校当学校のウェブページに12月下旬頃掲載予定)で確認。
調査書	中学校が所定の用紙に記入・作成、中学校長の印を押したのち、封筒に入れて厳封したものを高校に郵送します。 ※開封した場合は無効になります。
志願理由書※1	各自が所定の用紙に記入(必要な高等学校のみ)
自己申告書※2	必要に応じて提出可。 本人が記入した後、封をした上で、在籍する中学校長に提出することを報告した後、志願する高等学校の校長に提出します。

※1 志願する高等学校が、学科ごとに、提出を求める場合は、所定の用紙(様式3の(1))で作成する。

※2 欠席が多い理由又は障害があることによって生ずる事柄等について説明しようとする者は、所定の様式(様式4)で作成し、志願者の氏名を表記した封筒に入れ、封をした上で、在籍中学校の校長に提出することを報告した後、提出すること。また、原則として志願者本人が記入すること。なお、「欠席が多い」とは、年間の欠席日数が30日以上の場合とする。

(3) 出願方法

○インターネット出願

千葉県内すべての高校の全日制の課程で、インターネット出願を実施します。ただし、「入学願書」「調査書」等の出願書類は郵送します。

インターネット出願の御案内

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜では、全ての公立高等学校において、インターネット出願を実施します。以下の出願概要等に従い、手続きを進めてください。なお、追加募集、秋季入学者選抜及び通信制の課程の入学者選抜（三期・四期）を除く、全ての選抜が対象となります。

本検査のインターネット出願概要（中学校に在籍している志願者）



① 志願者情報の登録

●志願する高等学校のウェブページから志願者情報を登録し、中学校に確認してもらう。



② 必要書類を中学校へ提出する

●自己申告書等、必要な書類があれば中学校に提出する。



③ 入学検査料納付

●クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーで検査料を納付する。



④ 中学校が高等学校へ調査書等を郵送する

●中学校が調査書等の必要書類を高校へ郵送する。※入学願書は郵送しない。



⑤ 受検票・受理証を印刷する

●マイページから自宅のプリンターやコンビニ等で印刷する。



⑥ 受検

●受検票を持参して受検する。

(4) 志願又は希望の変更

◇志願変更…志願した高等学校から他の高等学校に志願先を変更することをいいます。

例)千葉県立印旛明誠高校⇒千葉県立白井高等学校

◇希望変更…志願した高等学校の「選抜の種類」、「課程」、「学科」、「部」の希望を変更することをいいます。

例)千葉県立成田国際高等学校 普通科⇒千葉県立成田国際高等学校 国際科

志願又は希望の変更の受付期間及び受付時間

令和7年 2月12日(水) 9:00 ~ 16:30

2月13日(木) 9:00 ~ 16:00

送付についても2月13日(木)16:00必着

・志願変更の流れについては出願時のマニュアルで確認。

(注意)・志願変更、希望変更は1回しかできません。

・変更によって入学検査料に差額が生じた場合は、差額を納入します。

(定時制⇒全日制)

・差額の納入はあっても、返金はありません。

(全日制:2,200円⇒定時制950円の場合、差額の返金はありません)

・志願変更・希望変更は1回限りという制限と、手続きミスで提出が遅れてしまうと受検できなくなってしまうので、慎重に進める必要があります。なお、志願・希望変更は、本人と保護者が当該高校に行って手続きを行っていただきます。

(5)本検査期日

令和7年 2月18日(火) 9:30 ~
2月19日(水) 9:30 ~

※2日間とも検査の時間等は、各高校によって別に指示されます。(早く終わる場合もあります)

(6)検査時間割

第1日 2月18日(火)		第2日 2月19日(水)	
時間	検査等	時間	検査等
9:30	集合	9:30	集合
9:30~ 9:50	受付・点呼	9:30~ 9:50	受付・点呼
9:50~ 10:05	注意事項伝達	9:50~ 10:05	注意事項伝達
10:15	検査室着席完了	10:15	検査室着席完了
10:20~ 11:10	国語(50分)	10:20~ 11:10	理科(50分)
11:35	検査室着席完了	11:35	検査室着席完了
11:40~ 12:30	数学(50分)	11:40~ 12:30	社会(50分)
12:30~ 13:15	昼食・休憩	12:30~ 13:15	昼食・休憩
13:20	検査室着席完了	13:25~	※ 学校設定検査 学校設定検査の時間等については、各高等学校が別に定める。
13:25~ 14:25	英語(60分)		
14:40~	※ 学校設定検査		

(7)受検者心得

①受検票を必ず持参すること。

②当日、午前9時30分までに志願した高等学校に集合すること。

③筆記用具[鉛筆(シャープペンシル可)・三角定規一組(角度の目盛りのないもの)・コンパス・消しゴム]、弁当及び上履きを持参すること。ただし、下敷きは持参しないこと。

(直定規と分度器は使用不可。)

④時計を携帯する場合は、時計機能のみのものであること。

(原則として教室には時計がありません)

⑤携帯電話等は、検査室に持ち込まないこと。

⑥検査室内では、物の貸借はしないこと。

⑦携帯品、その他留意事項については、学校設定検査の内容により、各高等学校において別に定めた指示に従うこと。

(8)選抜方法

「千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」には、次のように定められています。

- ・中学校の校長から送付された調査書の書類の審査、学力検査の成績及び学校設定検査の結果を選抜の資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適正等を総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。
- ・調査書の必修教科の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項、学力検査の成績、学校設定検査の結果等の選抜の資料は原則として得点(数値)化するものとし、**選抜のための各資料の得点を合計した「総得点」に基づき総合的に判定する。**
- ・選抜の資料の配点は各高等学校において定める。各高等学校の選抜の手順、選抜のための各資料の項目及び配点等を定めた「**選抜・評価方法**」は、令和6年10月17日(木)より各高等学校のウェブページに掲載する。例)資料1 令和6年度印旛明誠高等学校選抜・評価方法

ア 基本的選抜方法

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点 ×K4 理数に関する学科 (数学・理科) 国際関係に関する 学科(英語) 1.5倍又は2倍可 ○○○点	135点×K1 K123=1~ K4=1~1.5 原則1 △△△点	0~50点×K2 県大会出場など 英検・漢検など 生徒会役員など □□点	1検査 ……10点~100点×K3 * 県の作成する「思考力を問う 問題」……100点×K3 2検査以上……上限 150点 * 適性検査2つ以上+面接実施 の場合(専門学科) ……面接 50点まで、合計得点 の上限は 200点 ◇◇点	◎◎◎点

イ 学校設定検査の内容

各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査が実施されます。

※各検査の概略(主な例)

① 面接	学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは一般常識を問う
② 集団討論	複数の受検者に対して、同一テーマを与えて自由に討論させる
③ 自己表現	決められた時間内において、受検者があらかじめ提出したテーマに従って発表する
④ 作文	指示された題名のもとに文章を作成する(自由に書かせることも含む)
⑤ 小論文	ある文章を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの考え方等をみる
⑥ 適性検査	学校・学科の特色に応じて行う実技等の検査で、運動能力に関する検査、各学校が指定する内容に関する検査等
⑦ 学校独自問題	・基礎、基本の定着をみる問題 ・思考力、応用力をみる問題 ・各学校の特色に応じた教科横断的な総合問題
⑧ その他の検査	・志願要件ごとに異なる検査 ・口頭による学習内容の検査 ・日本語能力検査 ・思考力を問う問題

ウ 選抜結果の発表、通知

令和7年3月4日(火) 9:00

入学許可候補者の受検番号が、各高等学校において掲示及びウェブページに掲載発表されます。また、本人宛に郵送で通知されます。

2 追検査

感染症罹患による発熱で別室での受検も困難である等、やむを得ない理由により本検査を全部又は一部受検することができなかった者を対象とします。

(1) 追検査志願者の連絡

追試験を志願する者はやむを得ない事由が発生した場合、原則として在籍する中学校の校長等を通じて、志願した高等学校の校長に電話により連絡しなければなりません。

(2) 追検査受検願等の提出期間・受付時間

令和7年2月21日(金) 9:00～16:30
2月25日(火) 9:00～12:00
※送付についても、2月25日(火)12:00必着

(3) 提出書類

各自が志願した高等学校に次の書類を提出します。

- ① 出願時に交付された受検票
- ② 追検査受検願(所定様式)
- ③ 本検査を受検することができなかった理由を証明する医師の診断書
(加療期間が明記されたもの)

※医師の診断書を提出できない場合には、在籍中学校の校長が作成した『**本検査不受検理由証明書(所定様式)**』を在籍中学校の校長の確認を経て、志願した高等学校の校長に提出する。

(4) 追検査期日

令和7年2月27日(木) 8:45～

(5) 検査時間割

2月27日(木)			
5教科の学力検査を実施する高等学校		3教科の学力検査を実施する高等学校	
時間	検査等	時間	検査等
8:45	集合	8:45	集合
8:45～8:50	受付・点呼	8:45～8:50	受付・点呼
8:50～9:00	注意事項伝達	8:50～9:00	注意事項伝達
9:05	検査室着席完了	9:05	検査室着席完了
9:10～10:00	国語(50分)	9:10～10:00	国語(50分)
10:10	検査室着席完了	10:10	検査室着席完了

10:15~11:05	数 学(50分)	10:15~11:05	数 学(50分)
11:15	検査室着席完了	11:15	検査室着席完了
11:20~12:20	英 語(60分)	11:20~12:20	英 語(60分)
12:20~13:00	昼食・休憩	12:20~13:00	昼食・休憩
13:05	検査室着席完了		
13:10~14:00	理 科(50分)	13:05~	学校設定検査 (学校裁量)
14:10	検査室着席完了		
14:15~15:05	社 会(50分)		
15:20~	学校設定検査 (学校裁量)		

※学校設定検査を実施する場合には、学校設定検査の時間等については、各高等学校が別に定める。

(6) 受検者心得

当日、午前8時45分までに志願した高等学校に集合すること。

※②以外は、4ページ(8)の受検者心得と同じです。

3 第2次募集

公立高等学校入学許可候補者となっていない者、千葉県内の私立高等学校の入学許可候補者のうち、当該高等学校の校長から「第2次募集」に応募してよい旨の承認を得ている者は、出願できます。

(1) 志願者情報の登録及び入学検査料の納付期間、出願書類等の提出

情報登録・納付期間 令和7年3月4日(火) 16:00 ~ 3月6日(木)
書類提出 令和7年3月7日(金) 9:00 ~ 16:30

(2) 志願の変更、希望の変更

令和7年3月10日(月) 9:00 ~ 16:30
送付についても、3月10日(月)16:30必着

(3) 検査期日

令和7年3月12日(水) 9:30~

※検査内容:面接及び、各高等学校が定める検査を実施します。

(4) 入学許可候補者の発表

令和7年3月14日(金) 9:00~

入学許可候補者の受検番号が、各高等学校に掲示発表されます。インターネット特設サイトでの合否照会もできます。また、選抜結果が本人に通知されます。

(5) 検査時間割

3月12日(火)	
9:30	集合

9:30～9:40	受付・点呼
9:40～9:55	注意事項伝達
10:10～	検査 ※検査の時間等については、各高等学校が別に定める

2 その他の入学者選抜

1 海外帰国生徒の特別入学者選抜

(1) 応募資格

次の(1)のア、イ又はウの志願資格を有する者で、かつ、(2)のア又はイの志願要件のいずれかに該当する者

(1) 志願資格

ア、中学校もしくはこれに準ずる学校もしくは義務教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者

イ、中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

ウ、学校教育法施行規則第95条各号のいずれか一つに該当する者

(2) 志願要件

ア、外国における在住期間が、帰国時からさかのぼり継続して2年以上4年未満の者で、帰国後1年以内の者

イ、外国における在住期間が、帰国時からさかのぼり継続して4年以上の者で、帰国後2年以内の者

※「帰国後1年以内」⇒帰国した日から令和7年2月3日(月)までに1年が経過していない場合をいいます。

※「帰国後2年以内」⇒帰国した日から令和7年2月3日(月)までに2年が経過していない場合をいいます。

(2) 外国人の特別入学者選抜

次の(1)のア、イ又はウの志願資格を有する者でかつ、(2)の志願要件に該当する者

(1) 志願資格

ア、中学校もしくはこれに準ずる学校もしくは義務教育学校を卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者

イ、中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

ウ、学校教育法施行規則第95条各号のいずれか一つに該当する者

(2) 志願要件

保護者等とともに千葉県内に居住している又は居住予定のある外国籍の者等のうち、入国後の在日期間が3年以内の者

※「入国後の在日期間が3年以内」⇒入国した日から令和7年2月3日(月)までに3年が経過していない場合をいいます。

2 地域連携アクティブスクールの入学者選抜

○一般入学者選抜と同じ日程で実施します。

○実施する高等学校

・泉高等学校 ・船橋古和釜高等学校 ・行徳高等学校 ・流山北高等学校 ・天羽高等学校
・市原高等学校

3 通信制の課程の入学者選抜

(1)実施する高等学校 千葉県立大宮高等学校

(2)選抜時期と出願日及び検査日

①一期入学者選抜	・一般入学者選抜と同じ日程で実施します。 ・検査は面接及び作文(2月18日(火))
②二期入学者選抜	・第2次募集と同じ日程で実施します。 ・検査は面接及び作文(3月12日(水))
③三期入学者選抜	・出願は令和7年4月3日(木)、4日(金) ・検査は面接及び作文(4月9日(水)) ・発表は4月11日(金)
④四期入学者選抜	・出願は令和7年9月1日(月)、9月2日(火) ・検査は面接及び作文(9月5日(金)) ・発表は9月9日(火)

4 各入学者選抜の出願に必要な書類

一般入学者選抜 本検査の出願書類(p.3)の他に、以下の書類が必要になります。

海外帰国生徒の特別入学者選抜	・海外在住状況説明書(所定様式)
外国人の特別入学者選抜	・外国人特別措置適用申請書(所定様式) ・外国籍であることを証する書類 (在留カード、特別永住者証明書又はこれに代わる書類)
地域連携アクティブスクールの入学者選抜	・一般入学者選抜と同じ
通信制の課程の入学者選抜	・志願理由書(所定様式)

5 その他

○配慮申請について

- 1 障害があることにより、特別な配慮が必要な志願者は、その内容について、在籍する中学校等を通して、出願を検討している高等学校長に相談することができる。
- 2 受検に係る特別配慮申請書(様式21)により、志願する入学者選抜の願書等の受付開始日の1週間前までに志願する高等学校の校長に申請することができる。
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始及び学校閉庁日を除く)

私立高校の受験について

1 概要

- 私立高校の入試は、前期と後期に分かれており、同じ高校を2回受験することや、複数の学校を受験することが可能です。また、推薦という名称の試験であっても併願であれば複数受験が可能です。
- 前期試験は、推薦入試という名称で実施する学校もありますが、基本的には誰でも受験できます。ただし、当該高校が定める内申点の基準を超えていないと受験することができない学校や、基準に満たなくても人物が優れている等の理由で、中学校長の推薦があれば、受験できる学校もあります。
- 前期試験を2回行う学校もあります。
- 入試相談を行う学校の場合、第2、3希望(併願受験)者は、第1希望学校の発表まで、入学の権利を保留するために入学金の延納手続きをする必要があります。手続き不要の学校や願書に延納希望を書き込む学校、また延納金(20,000円～50,000円)を納めなければならない学校までさまざまですので、各自しっかりと確認する必要があります。
- ほとんどの受験生が前期試験で内定を決めるため、後期試験での受験者数は、激減します。高校によっては後期試験を実施しない学校もあります。

2 前期試験(推薦入試) 千葉県内は、1月17日(金)～20日(月)頃に集中します。

(1) 単願(専願)推薦

- ①第1希望者に対する推薦で、検査内容が面接・作文のみの学校もあります。
- ②合格したら必ず入学することになります。

(2) 併願推薦(公立高校を第1希望とする場合や、他の私立高校を第1希望とする場合があります。)

- ①第2希望以下の受験生が対象で、多くの高校で実施されます。
- ②受験日は単願推薦と同じ場合が多く、受験内容は高校によって異なります。
- ③3科目(国・数・英)の学力試験を実施するところがほとんどです。
- ④第3希望で合格の権利が必要ない場合(事前に第1か第2希望の学校が合格した場合)、手続きを行う必要はありません。

(3) スポーツ推薦

- ①部活動等で実績があり、高校でもそのスポーツを行うことが前提となります。希望する場合は必ず担任に相談し、中学校を通して出願を行うようにしてください。

(4) 特待生

- ①学力特待、スポーツ特待等の制度がある学校があります。入学金免除、授業料免除、全額免除などさまざまで、その制度は高校によって異なります。

(5) フリー受験(一般)

- ①入試相談(後述)のシステムを行わずに受験する場合です。入試相談を実施する学校の場合、フリー受験では不利になる学校があります。

3 後期試験(一般入試) 千葉県内は、2月15日(土)頃に集中します。

試験内容は前期試験と変わらない学校がほとんどですが、募集定員は少ない学校が多いのが現状です。

※私立高校を複数受験する場合には、受験日が重ならないか各自で確認が必要です。

4 出願に必要な書類(各高校によって異なります)

①願書	
②受験料	・銀行や郵便振込の場合が多い ※インターネット出願の場合、クレジットカードでの決済が可能なところもあります。
③写真	・各自で用意した願書に貼付したり、データをアップロードしたりする。 ※サイズ・枚数を確認してください
④調査書(中学校で作成します)	<u>※要項に「千葉県公立高校のものと同じ形式」等と書いていない場合は、高校独自の様式の調査書になるので、担任に早めに提出してください。(主に県外の高校)</u>
⑤学校長推薦書、自己推薦書、志願理由書など	推薦の場合…学校長推薦書、自己推薦書、志願理由書など ※学校長推薦の場合の推薦書については、中学校で記入します。 ※自己推薦による自己推薦書については、本人が記入し、保護者が押印をします。
⑥その他	各高校ごと

※県内のほとんどの学校がインターネットによる出願を予定しています。

5. その他の学校(進路)について

1 木更津工業高等専門学校(詳しくは入試要項をご覧ください。)

○推薦入学者選抜(合格したら、必ず入学する意思を有することが条件です)

- ・願書受付 1月上旬
- ・試験(適性検査・面接) 1月下旬
- ・選抜結果通知 1月下旬

○学力入学者選抜

- ・願書受付 1月下旬
- ・学力検査 2月中旬

(※学力入学者選抜と同じ日程で、帰国子女特別選抜も行われます。)

2 専修学校

願書受付、入学試験……学校によります。

12月から3月まで(出願・試験・発表)学校によって様々です。

3 通信制高校・通信制サポート校

願書受付、入学試験……学校によります。

12月から3月まで(出願・試験・発表)学校によって様々です。

4 就職

ハローワーク(職安)を通すのが良いが、求人は、ほとんど無い状況です。
縁故関係(保護者の知り合い等)で紹介していただく場合もあります。

※就職を考えている場合には、早急に担任に知らせてください。

6 具体的な今後の諸手続

1 進路相談 =生徒との二者面談〔10月～11月〕

10月上旬に第2回進路希望調査を行います。それをもとに二者面談を実施していきます。この面談では担任から進路についての情報を伝えながら、各自の志望を詰めていきます。また、二者面談は随時行っていくしますので、ご家庭でも進路については、十分に話し合う時間を持っていただきたいと思えます。

2 第3回進路希望調査票 11月上旬に配付予定

11月上旬に、第3回進路希望調査を行います。この希望調査をもとに三者面談で受験する高校を決定していきます。(希望順や受験形態など、より具体的な書式になっております。) 各家庭でしっかり話し合った結果を記入していただけるようにお願いします。

3 三者面談〔11月21日(木)～11月29日(金)〕

第3回進路希望調査の内容について、実力テスト、1～3年成績、特別活動の記録などを参考に、校内進路検討会で一人ひとりについて検討します。校内進路検討会での検討内容などをもとに、三者面談を行います。そして、この三者面談で公立高校の受験校の絞り込み及び、私立高校の受験校を決定します。特に私立高校で入試相談を希望する場合には、担任が入試相談資料を作成する必要があるため、この三者面談で受験校を決定しなければなりません。

4 受験校確認書の提出〔面談後3日程度以内に提出をお願いします。〕

三者面談を経て、最終的な受験校確認書を提出していただきます。その確認書に従って入試相談、受験手続きを進めるため、提出後の安易な変更はできませんので、三者面談等の結果をもとに記入をお願いします。三者面談の日程によっては、提出までの期間が少ない場合があります。申し訳ありませんがご了承ください。

5 「願書」等の入手

- (1)公立高等学校はすべてWEB 出願になります。
- (2)私立高等学校は各自で入手していただきます。

※調査書用紙や推薦用紙などの書類が入っていた場合は学校で作成しますので、受験校が決まったら(予定も含めて)できるだけ早く担任に提出して下さい。

6 出願書類の作成から出願手続きの流れ

- (1)私立高校の Web 出願をする生徒は、入試相談がある高校については、入試相談後に相談結果を担任から聞いてから手続きを行い、受験料を納付してください。
※受験料振込後の取り消しや返金はできませんので、気をつけてください。
- (2)私立高校の出願手続きは学校によって異なりますので、詳しくは入試要項で確認してください。

7 合格発表から合格後の手続き

【公立高校】

- ①Web または高校での掲示にて各自で確認する。
- ②確認後、すぐに中学校に報告する。
- ③合格発表と同時に書類が発送されるので、それをよく読んで手続きをする。

【私立高校】

- ①Web または高校での掲示にて各自で確認する。
- ②確認後、すぐに中学校に報告する。
- ③所定の手続きを行う。
 - ・専願推薦・第1希望
…期日までに手続きをする。
 - ・併願推薦・併願
…期日までに一時手続き（延納金や延納願い）を行う。
（最終手続き日まで手続きを待ってもらえる）。
なお、併願校への進学が決まった場合は、残りの手続きを確実にを行うこと。

(8) その他

①面接練習

入学試験に面接があるなしにかかわらず全員を対象に行います。面接の基本的な約束事や流れを理解することはもちろんのことですが、これを機会に個々の進路に 対する気持ちの確認ができればと思います。

②調査書の作成

学校が作成し、校内の調査書作成委員会で最終点検を行い、志願先の高等学校に各自で提出します。（開封無効）

③印鑑

押印が必要な場合、浸透印（朱肉を使わない印鑑）は使えませんのでご注意ください。

④転居の予定がある

転居等をされる場合は、早めに担任に申し出てください。他県は入試のシステムが異なります。

⑤進路関係の書類等は、すべて期限厳守でお願いします。期限を過ぎた場合は、高校では一切受理されません。期限を守れるように早め早めに準備をころがけてください。

7. 進路関係 Q & A

Q1. 私立高の入試相談って何？

A:これは、受験を希望している生徒の学習成績・出欠席(中には遅刻・早退の数も)の状況・特別活動の状況・各種資格などを資料として、推薦・単願などの可否について、事前に話し合いを持つ機会のことです。この話し合いにより、優遇処置の可能性や推薦・専願で受験できるかなどが分かります。直前の変更等に対応しきれない場合もあります。迷い等あれば担任と具体的な学校名を確定した上で相談して下さい。入試相談の必要な高校については、11月の三者面談で決定する必要があります。

※入試相談後の取り消しは相手校との信頼関係に影響しますし、他の受験生に迷惑がかかることも心配されますので、三者面談後の変更は避けてください。

Q2. 入試相談の結果は家庭に知らせてくれるの？

A:希望通りの受験ができるときは、生徒本人に伝えます。

厳しい状況の場合、ご家庭へ連絡し、その後出来るだけ早く面談を行い、改めて進路希望について確認します。

Q3. 私立の単願推薦は、1人何校でも可能ですか？

A:いいえ、その高校に第一希望で入りたいという条件での推薦ですから、1人1校です。
(ただし、併願推薦は、条件さえ合えば複数校でも可能な場合があります)

Q4. 出願日と受験日が重なってしまった場合は？

A:受験は本人が行きますので、保護者の方が出願に行くことになります。

Q5. 受験時、法定伝染病等にかかってしまったら、どうしたら良いでしょう？

A:公立高校では、「追試験」(P7 2追検査 参照)という制度があります。私立高校では、学校毎に対応が違います。説明会や入試要項等で確認し、知っておくと心強いと思います。

8. 生徒・保護者の皆さん

今頑張りたいこと（生徒の皆さんへ）

- 長期的学習スケジュールを崩さない →毎日集中して学習する習慣
- 節度ある生活リズムを作る →家庭での生活も含めて
- 食生活を含め健康管理を →体調不良では実力が発揮できない
- 時間を守る（遅刻、授業の開始、その他の活動の始まり） →時間の有効活用
- 1時間1時間の授業を大切にす →今の学習が一番大切
- 提出物の期限を守る →期限を過ぎたら、受け付けてくれません
- 清掃や係活動など自分の責任をきちんと果たす →伸びる生徒は何事にも積極的
- 日頃から身なり(頭髪含む)をきちんとする →今その格好で受験にいけるか？



ご家庭で協力してほしいこと

1 進路についての十分な話し合い

- ・まず、話を聞いてあげてください。話し合いの機会を多くしましょう。
(学校からの連絡や、情報も生かしてください。)
- ・子どもが話しやすい雰囲気を作りましょう。
- ・親の自らの生き方から、将来について話し合う事も有効です。
- ・親子でお互いの考えを理解し合いましょ。
- ・適切なアドバイスをお願いします。



2 子どもの生活態度の向上

- ・規則正しい生活を送り、生活にリズムを。
(起床、就寝、睡眠時間、食事、学習、帰宅時間など)
- ・挨拶、礼儀、正しい言葉遣い、身だしなみ(頭髪含む)などを意識させてください。
(面接試験の練習にもなります。)

3 健康管理

- ・体調面での少しの変化を見逃さないようお願いします。
- ・時間の有効活用を(学習時間、睡眠時間の確保)
- ・入試が迫ってくると夜型になりやすいものです。ぜひ、早い段階から朝型を。
(脳が活発になるには、起床後、3時間後から等と言われています。入試開始は9:00頃が多いので、6時には起床する習慣を・・・)

4 環境づくり

- ・学習に集中出来る環境を整えるが大切です。
(部屋全体と手元は明るいか。テレビの音量は気にならないか。携帯・スマホの使用状況の把握。ゲームのやり過ぎはないか・・・)

5 確実な情報の把握

- ・学校説明会・見学会など機会があればぜひ参加してみてください。
- ・受験制度、日程(願書提出、受験日、発表日、手続き締め切り日)を保護者の方も把握しておいてください。

*** 進路関係の提出物は期限厳守でお願いします。**

第3学年の生徒全員が、自分の進路決定ができるよう願っています。